



宮中献上米

齋田御田植祭

六月二十六日、むなかた地区良質米生産支援協議会の宮中献上米齋田御田植祭が五月の播種祭に続き執り行われ、当大社より葦津禰宜以下神職三名と巫女二名が宗像市朝町の田中一彦氏所有田へ出向、伊規須国光協議会々長（JAむなかた・代表理事組合長）ら関係者参列の下、齋行された。

当日は台風五号の影響も心配されたが雨に見舞われる事無く、午前九時には関係者が集合し準備が行われ、同十一時より祭典が執り行われた。

葦津禰宜が五穀豊穡と皇室の弥栄を祈念する祝詞を奏上、続いて巫女が豊作を祈念する神楽「豊栄舞」を奉奏した。

「田植の儀」では古儀に則り齋田水口へお供えとして齋申を供進、耕作主



齋田全景(宗像市朝町)



次の100年、
人間には
何ができるのか。

出光 100 years



暑中御見舞い申し上げます



耕作主・田中一彦氏



斎串供進

による鍬入れ、御祓された早苗が神職より耕作主に授与され、関係者が玉串を神前に捧げ祭典は終了した。

続いて「御田植行事」が行われ、福岡県のオリジナルブランド米「元気づくし」が耕作主、協議会々々長、朝町地域の中学生から選ばれた早乙女等によって心を込め植えられた。祭典後の直会では、耕作主を務める田中家より手作りの「田植団子」



早苗

が振舞われ一同舌鼓を打った。また今年六月にJAむなかた代表理事組合長に就任され、この協議会の会長を務められる伊規須国光氏より、今後の抱負と事業計画について挨拶があり御田植祭は滞る事無く締め括られた。

九月には抜穂祭(稲刈り)が行われ、この斎田で収穫された御米を宮中へ献上、天皇陛下御親らご奉仕遊ばされる十一月二十三日の新嘗祭で供される。又、この献上では、御米と共に粟も献上する事になっている。

中津宮祇園祭

七月十五日、中津宮末社・須賀神社にて夏の疾病退散を祈る祇園祭が執り行われ、祭典後には、法被姿の島民等が山笠を担ぎ雄壮に島内を疾走した。

当日は天気快晴となりジリジリと日差しが照りつけ焼けるような暑さの中、午後二時より祭典が執り行われ神職より山笠がお祓いされた。



祭典後、地元小学生奉納による「磯っ子太鼓」が合図となり子供から大人まで島民総出で大小五台の山笠が曳かれ、「オイサ、オイサ」の掛け声とともに島内を駆け回った。

山笠巡行は、子ども広場で終了、「博多祝い唄」を一同で歌い上げ賑やかなままに本年の祇園山笠も滞る事無く終わった。



巫女による豊栄舞



IDEX

太陽光発電・オール電化はイデックスへ

新出光太陽光発電システムコールセンター

0120-89-9933 受付時間 8:30~17:30

webでもチェック!

IDEX 太陽光

検索

株式会社 新出光 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町1番10号

暑中御見舞い申し上げます

第35回
全国かるた競技宗像大会



六月十二日・十九日、第三十五回全国かるた競技宗像大会(主催〓宗像大社、全日本かるた協会、後援〓宗像市教育委員会)が、当大社清明殿並びに斎館で開催された。



大会二日目、十九日はA・B級(有段者)の試合が行われた。尚、当日九州南部の大雨で新幹線が不通となり鹿児島県の選手が大会に参加出来ないというハプニングがあったものの、九州はもとより遠く関西・関東からも実力者がそろい約80名参加のもと行われた。結果は、高校生からか

るたを続けている京都大学二年生の糸原圭太郎氏がA級で悲願の優勝を勝ち取った。

合が行われ各級とも熱戦が夕刻まで繰り広げられた。

大会二日目、十九日はA・B級(有段者)の試合が行われた。尚、当日九州南部の大雨で新幹線が不通となり鹿児島県の選手が大会に参加出来ないというハプニングがあったものの、九州はもとより遠く関西・関東からも実力者がそろい約80名参加のもと行われた。結果は、高校生からか

本年も大会関係者・選手の協力により大会は滞る事無く無事終了。選手達はお互いの健闘を称え合い来年の再会を期し大社を後にした。

第三十五回全国かるた競技宗像大会成績表

◆ A級 / 35名

- 優勝 糸原圭太郎 (京都大学かるた会)
- 準優勝 渡邊 美弓 (九州かるた協会)
- 3位 西崎 良 (早稲田大学かるた会)
- 3位 川原 康嗣 (広島県かるた協会)

◆ B級 / 39名

- 優勝 木本 景子 (九州かるた協会)
- 準優勝 中村 天海 (九州かるた協会)
- 3位 三木由希人 (九州かるた協会)
- 3位 鶴田 紗恵 (九州かるた協会)

◆ C級 / 45名

- 優勝 前川奈々美 (熊本県かるた協会)
- 準優勝 山本 貴大 (熊本県かるた協会)
- 3位 宮内 郁明 (熊本県かるた協会)
- 3位 才田 哲也 (熊本県かるた協会)

◆ D級 / 64名

- 優勝 大道 隆成 (九州大学)
- 内田 春香 (鹿児島県かるた協会)
- 2位 白木 泰雄 (徳島県かるた協会)
- 森山麻衣子 (若菜会)
- 3位 渡辺 万喜 (筑紫女学園高校)
- 市来 謙司 (九州大学)
- 葛原 悠太 (鹿本高校)
- 中野 舞桜 (三芳かるた会)

◆ シニアの部 / 11名

- 優勝 藤木美千子 (行橋かるた会)
- 2位 中嶋 道子 (梅の会)
- 3位 奥 米子 (行橋かるた会)
- 4位 古賀 昌子 (梅の会)

◆ 初心者級(小学生) / 45名

- 優勝 木庭しおり (内田かるた会)
- 佐々木紫子 (東若久小学校)
- 2位 深町 文美 (三芳かるた会)
- 山口美可子 (中津ややま会)
- 3位 岩熊 彩乃 (なにはがた会)
- 植山 怜奈 (中津ややま会)
- 石谷陽南子 (三芳かるた会)
- 梶原有加里 (山口県かるた協会)

◆ 初心者級(中学生以上) / 23名

- 優勝 宮地 和代 (行橋かるた会)
- 2位 上國料美歩 (鹿児島県かるた協会)
- 3位 松永 麗奈 (熊本県かるた協会)
- 井上 葉月 (若菜会)

この夏、
10倍の
出会い

7.16
~
8.31

乗車ポイント
10倍
キャンペーン

期間中にSUGOCAでJR九州の列車をご利用になるとSUGOCAポイントが通常1%のところ、10倍の10%!さらに、お買い物でもポイント2倍!博多駅筑紫口側「いっぴん通り」でのお買い物ならポイント6倍!

ご利用方法によっては、ポイントがつかない場合があります。SUGOCAポイント及びキャンペーンの詳細は、SUGOCAホームページでご確認ください。

<http://www.sugoca.jp>

SUGOCA × 福岡美少女団 × 佐賀美少女団

暑中御見舞い申し上げます

巫女・神楽舞講習会

「神社音楽協会・磯部先生をお招きし」

と懸命に取り組んでいた。本年は一般諸祈願や神前結婚式等

七月八〜十二日の五日間、神社音楽協会より磯部恵子先生をお迎えし、神楽舞を集中的にご指導いただき、平素見落としがちなお癖をご指摘頂くなど有意義な講習会となった。

巫女職は現在十三名、年間を通して一番神社が落ちついているこの時期に例年神楽舞の講習会を実施し研鑽に努めている。期間中は社頭状況をみながら交代で参加し、温習終了後も夜八時まで自主練習を行い巫女達は正しい神楽舞を身につけよう



宗像市海開き

六月二十五日、神郡宗像に夏の訪れを告げる海開き神事(主催〓宗像観光協会・玄海ホテル旅館組合)が本年は宗像サンセットマリンフェスタと併せ、釣川河口・江口浜にて行われ、多くの親子連れが参列し盛大に斎行された。

当日は生憎の曇空ではあったが、午前十時各団体の関係者に加え、海に入りたてい逸る気持ちを抑えながら多くの子供達も神事に参列、時折心地よい風が吹き抜ける中、今シーズンの海の安全と宗像地域の賑わいが祈念された。

祭典終了後には神職が深浜海岸、勝浦海岸へ向かい、本格的なシーズン到来を前に、市内各海水浴場を祓い清めた。



先生より指先、足先まで神経を集中させる事、「巫女は神楽を舞うことにより大神様に御奉仕している姿勢をみせることができる。だから気持ちの込もっていない舞は絶対に舞ってはならない」と舞に対する基本的姿勢についてなど熱心なご指導をい

ただき、受講した巫女からは「神楽を今まで以上に好きになることができた」等の声が聞かれた。また、本年は浦安舞の他に悠久舞もご指導頂き、講習会最終日には巫女らが大前で悠久舞を奉奏した。先生は神社音楽協会講師として全国のお社にてご指導されており、福岡では住吉神社で神楽舞をご指導されながら、神職としても磯部稲村神社(茨城県桜川市)でご奉仕されている。今後も温習を重ね、来年度の講習会では更に成長した姿を先生にご覧頂きたいと思っている。

世界初。

ANAは最新鋭機ボーイング787を全世界に先駆けて導入します。



暑中御見舞い申し上げます

第1回 氏子会評議員会

六月二十三日、本年度第一回目の氏子会評議員会が当大社清明殿にて置鮎玄二郎会長以下七十二名出席の下、開催され、平成二十三年度夏の大祓式に関わる人形並献米袋の配布並取り纏めの件を中心に審議がなされた。

当日、本殿にて正式参拝の後、清明殿に移動。開会に先立ち、去る六月十七日に中村昇副会長(福津市内殿)が御逝去された事が事務局より報告され、一同黙祷を捧げた。

議事では七月三十一日の大祓式並夏越祭について事務局より意義説明があり、旧宗像郡内に配布する人形・献米袋の取り纏めのご理解ご協力の依頼がなされた。また氏子納金の件、氏子会研修旅行の件についても審議並報告がなされた。



り報告され、一同黙祷を捧げた。議事では七月三十一日の大祓式並夏越祭について事務局より意義説明があり、旧宗像郡内に配布する人形・献米袋の取り纏めのご理解ご協力の依頼がなされた。また氏子納金の件、氏子会研修旅行の件についても審議並報告がなされた。

会議終了後には各評議員に担当地区の人形・献米袋を持ち帰り頂へ向け、配布作業が行われる。

弊誌八月号発刊時には、大祓式並夏越祭も終わり本格的な夏を迎えているが、人形配布作業に御奉仕頂いた皆様には、紙面を以ちまして御礼のご挨拶を申し上げます。

第20回 宗像大社氏子会研修旅行

た。大河ドラマの映像や豪華衣装等が展示された「浅

七月四〜六日の二泊三日で、氏子会研修旅行が置鮎玄二郎会長以下二十八名参加の下、近江神宮、白山比咩神社参拝を中心とした行程で実施された。

初日は宗像大社を始め各地区毎に集合しバスで門司へ向かい、新門司港よりフェリーに乗船、船中泊した。

翌朝、大阪の泉大津港に到着、バスにて大河ドラマで話題の浅井三姉妹ゆかりの地、滋賀県長浜へ向かった。

井・江のドラマ館」、戦国大名浅井氏の歴史と浅井三姉妹の生涯、小谷城の攻防戦等を展示する「小谷・江のふるさと館」を見学した。

午後より福井県に入り、「一乗谷朝倉氏遺跡」を見学、曹洞宗大本山「永平寺」を参拝し、石川県加賀市の山中温泉にて宿泊した。一日の疲れを癒し、夕刻の懇親会では山の幸を堪能し、互いに親睦を深めた。

三日目は、加賀国一宮「白山比咩神社」を正式参拝、村山宮司様より

御挨拶を賜った。

その後滋賀県へ戻り、勅祭社「近江神宮」を正式参拝し大木権宮司様より御挨拶を賜った。帰路は大阪伊丹空港より飛行機で帰福。福岡空港からはバスで各地区ごとに下車し散会となった。

今回の道中は、梅雨時期にも関わらず、滋賀県から北陸地方にかけては好天に恵まれ、病気や事故もなく無事に終えることができた。来年も多くの皆様の御参加をお願いするとともに、格別の御高配を賜りました各神社宮司様はじめ職員の皆様には、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

いい未来は、子どもたちを想うことから始まる。

子どもたちが夢んでいる。何があるかわからない未来に向かって、その小さな足で。

九州電力は、人のこと、自然のこと、未来のことをいっばい考えて、もっともっと九州のために役立ちたいと願っています。

子どもたちが安心して暮らせるよう、何気ない毎日を支えているから。

今日と明日とそのずっと先の「快適で、そして環境にやさしい」毎日のために。

<http://www.kyuden.co.jp/>



九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。

暑中御見舞い申し上げます

神前結婚式挙式者芳名

(平成23年6月~7月)



末長いお幸せをお祈り致します。

29日	24日	18日	9日	6日	7月3日	26日	20日	18日	6月11日			
吉野 岩本 沙貴 航太 様 様	外尾 白木 知子 久喜 様 様	森重 野住 野ひと 徹 様 様	川濱 津田 康子 新平 様 様	那日 野高 理庸 英介 様 様	廣木 渡山 陽子 守 様 様	伊隈 藤本 佳賢 子司 様 様	南永 島 靖孝 子佳 様 様	藤品 田川 智健 子介 様 様	足中 立野 樹梨 純 様 様	大羽 山 綾政 子年 様 様	狩井 川上 祥賢 子嗣 様 様	
Jonathan Soriano (ジョナサン ソリアーノ) 様	宗像市	京都府	福岡市	宗像市	北海道	直方市	宗像市	福岡市	熊本県	遠賀郡	遠賀郡	福岡市

古写真探訪 辺津宮神門



現在の神門は、大正15年(1926)に竣工したものです

昭和5年(1930)

大正11年(1922)

私たちは生活者の立場で考え、顧客の立場で行動します。

私たちはユーザーの気持ちを的確に捉え、
 企業戦略から空間、個々の商品、サービスに至る
 トータルなステージで「デザイン」の力を発揮し
 顧客の企業価値の創造のお手伝いします。



株式会社ジーエータップ
<http://www.ga-tap.co.jp>

福岡事務所

福岡市博多区綱場町2-2 福岡第一ビル1F 〒812-0024
 Tel 092-291-8801 Fax092-291-8805

東京事務所

東京都千代田区九段北1-13-1 九段中坂ビル3F 〒102-0073
 Tel 03-3221-1735 Fax03-3221-1736

暑中御見舞い申し上げます

(続)



258



いしい ただし

宝永地震(一七〇七)はM8の巨大地震であった。被害は東海道から中国、九州に及び多くの死者も出た。また大地震前には富士の爆発も起っている。今新幹線の車窓から富士山を見ると斜面に大きな窪みがあり、これが宝永四年に大爆発した時に出来た噴火口で「宝永火口」(火口は三つからなり第一火口が一番大きい)とよばれる。この大爆発には、江戸の街々にも灰が降っている。噴火と地震とも深い関係があり、海に近いところでは山の崩落が津波を起す場合もある(後述)

明和三年(一七六六)の津軽大地震M6.9では弘前城が破損、潰家七千余、死者一五〇〇余であった。地震の場所にもよるが、地域のシンボリックな城が崩れたり、石垣が壊れたりしている例も多い。

明和八年(一七七二)の八重山地震はM7.4で石垣島では津波被害が大きく、死者九三〇〇、死亡率三二%、住家全壊二一七六、津波到達高は85m、世界最大の部類に入る。



楠本氏から新燃岳の灰がとどいた

火砕流の再現やメカニズム、震災資料も多く見ることができた。私が光陵高校に勤めていた頃の生徒に西村君がいた。その時、福

近年、インドネシアスマトラ島のもこれに近い状況であり、今度の東北大地震も場所によってこれに近いのか、これ以上の高さの津波が襲っている。撮影が山(高台)ないしビルの屋上や航空機からの撮影で、高低差が分からないが、目で撮影すれば滝のようになって見えただろう。

寛政四年(一七九二)長崎県雲仙爆発で眉山崩れがおり海に入り、津波となつて有明海沿岸を襲い、死者一万五千、流失家屋約六千、世にいう「島原大変肥後迷惑」といわれた。

雲仙・普賢岳は二百年ぶり一九九〇年に爆発、一九九一年には取材をしてきたマスコミの関係者四三名の犠牲者が出た。今年六月に宗像の「歴訪」のみなさんと、島原城と震災施設を見学してきた。生憎の大雨で見学は十分でなかったが、施設の



善光寺山

弘化四年(一八四七)M7.4信州善光寺地震は善光寺平を中心に大被害、参拝に訪れた善男善女を含めて死者八六〇〇余、潰家、約三万、山崩四万四〇〇、犀川堰止め數十カ村水没、四月十三日止めた土砂決壊、洪水が起きている。

大の学生だったがKBCのアルバイトで取材中に火砕流に巻き込まれて亡くなった。館の人に名簿を見せてもらい、若い命に冥福を祈った。帰る途中で、自衛隊の災害地派遣車両とすれちがった。今回の大地震では自衛隊の活動は、国民に大きな印象を与えた。

天保元年(一八三〇)M6.4、京都の中心部に被害集中、死者二八〇、傷一三〇〇、五ヶ月間の余震六三五回を数えたという。余震は精神的に圧力をかけ、不安と恐怖を増大させストレスとなる。

天保一四年(一八四三)M8.4、根室沖、陸上の被害は小だったが、厚岸で津波の高さ一五尺(約50m)が襲い、死四六人、家屋破壊七五。



自衛隊救援車



宗像大社御神菓調製



九州産の小麦を使用したサブレです。

御菓子處 石村萬盛堂
〒812-0028 福岡市博多区須崎2-1
TEL 092-962-5000

暑中御見舞い申し上げます

第六〇〇回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メット



宗像市 土六

北斎展ひとりめぐりいて初公開烏帽子の放屁の軸にぞ出会う
放屁図に強い印象を受けた作者。(北斎展めぐりて遇えり初公開の烏帽子の男放屁する絵図)とした。

北九州市 八幡西区

豊田 光子
桃のつゆ滴るを皿に受けとめて齢ひとつを重ぬるこよひ
誕生日の夜のちよつと複雑な気持ちで静かに詠まれた一首。三句切れにしても良い。

福津市 若木台

山崎 公俊
亭々と聳ゆる大樟仰ぎみれば小さく小さく花のかずかず
楠の大木とその花の小ささの対比が面白い。四句は重ねずへ白く小さきなどとしては。

福岡市 南区

井田有久衣
箱根路をひたすら走しる車窓より靈峰富士の勇姿に歓声
富士山に感動する作者が見えるよう。靈峰をへ雪かむるなど描写にすると読者にも景色が見える。

福津市 若木台

野間 精一
蜜蜂も雀峰も来る梅雨の間のわが家の庭は音の絶えざり
蜂の羽音を気にかける作者の繊細さ。花の咲く美しい庭を想像する。三句はへ梅雨晴れのへでは。

福津市 中央

池浦千鶴子
ねずみもちの白き小花の盛れるに梅雨のはしりか雨降りやまず
しっとりとした歌。作者は花と雨によせて感情の陰影を表現しているようでもある。

うきは市 浮羽町

向 則正
トルコ人は親日的で愛想よし少年達が挨拶くるる
楽しい旅の歌。トルコ語の挨拶の言葉を入れた歌なども読んでみたい。

福津市 星ヶ丘

佐々木和彦
宇宙より撮らるる夜の東京のあかりはまるで金の蜘蛛の巣
金の蜘蛛の巣の比喩が的確で美しく、ちよつと批評性もありそうない歌。

宗像市 東旭ヶ丘

天野 玲子
置き場所を忘れぬ為記したるメモのありかを思い出さず
中高年になれば誰にでもあることをがっかりせず
歌の種にする作者。ユーモアとペーソスが漂う。

宗像市 日の里

大和美由紀
畑に出で草抜きをればプールから子等の明るき声が弾ける
夏らしく爽やか。声が弾けるは新聞やTVで使い古された表現なので普通にへ聴こえ来でよい。

宗像市 池田

森 龍子
そよ風が落とす実梅に潰頃を計りて挽がむ日和り良き日に
実感がこもった良い歌。長年、自家製の梅の実で梅漬
けを作ってきた作者だろうと感心した。

宗像市 田久

巻 桔梗
見なれこし万年筆へ(鬮)と亡き友が教ふおでん屋の夢
亡くなった友人のリアルな夢。鬮にはがうがう(口語ではごうごう)とルビを。四句はへ書くへが要るのでは。

福岡市 南区

加野シノブ
梅雨晴れ間木々の緑は洗われて葉色は違い陋屋の庭
雨後の木々の葉色に注目した目が良い。へ梅雨晴れ間雨に洗われ木々の葉の緑それぞれ陋屋の庭へ

選者詠

笹の葉のさらさらの髪をとばりとし
姫君ねむる夕べのバスで
無病とて瓢箪六つ描く皿を割りたる
夜更けせなかがかゆい

第五七五回

俳句作品集

宗像市 日の里

花田 いつ枝
怠けるにはあらず炎暑の一ト休み

8月祭事暦

- 1・15日 月次祭
午前10時～
高宮祭・第三宮祭
第二宮祭・宗像護国神社祭(1日)
- 午前11時～
総社祭
浦安舞奉奏(1日)
豊栄舞奉奏(15日)
- 7日 午後7時～
中津宮七夕祭
於=大島・中津宮
- 15日 午後7時～
宗像護国神社
千灯明祭
於=宗像護国神社

編集後記

今回、二古写真探訪といふコーナーを設けました。今年度より広報担当となり、当大社が所蔵する昔の写真や記録に目を通す機会が多くなりました。時間を見つけては書庫等に入り込み、新たな発見に一人で密かに楽しんでます。同時に先輩神職の資料整理の到密さには脱帽します。自分もしなければならぬと思うのですが、なかなか簡単にには行きません。今回の大正時代の神門の写真は戦前、内務省神社局が撮影したものであり、他にも数十点、沖ノ島を含め当大社の当時の様子を伝える写真が残されています。今後、皆様にご紹介していきたいと考えております。▼本格的な夏を迎えます。皆様お体にはお気を付け下さい。(松)

発行所 宗像大社事務所・宗像会

住所 千八一一一三五〇五

福岡県宗像市田島二二二二

電話 (0940)6211311(代)

発行人 葦津幹之

編集人 大塚宗延・松林 拓

制作・印刷 ゼネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共 1,000円